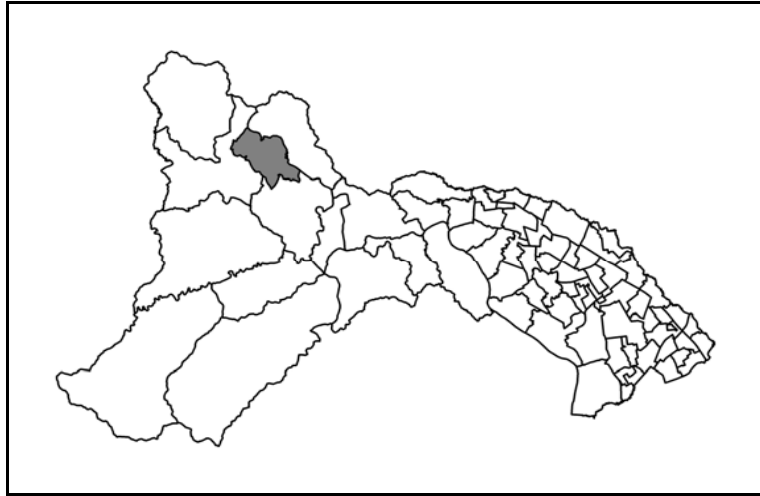


○地区を構成する町丁

【緑区】小原、吉野、与瀬、与瀬本町、若柳

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

相模湖町(下町西部本町, 湖畔, 月夜野, 下町, 中町, 上町, 横橋, 桂北地区, 神明, 下町西部, 下町東部, 小原, 西, 鼠坂)

○地区概況

相模川・相模湖に沿う狭い台地に市街地が発達している地区である。
J R 相模湖駅、中央自動車道相模湖東インターや県立相模湖公園など外来者の多い地区である。
地区を東西に走る国道20号は、大雨時には通行が規制される。

○建物数・人口

建物		区分		建物 (棟数)	
建物	木造(昭和55年以前)	619	棟		
	木造(昭和56年以降)	579	棟		
	非木造(昭和55年以前)	97	棟		
	非木造(昭和56年以降)	136	棟		
	合計	1,431	棟		
人口		区分		人口 (人)	
人口	0~4歳	59	人		
	5~64歳	1,599	人		
	65歳以上	949	人		
	合計	2,607	人		

○所見

- ・中央自動車道が地区を南と北に分断し、狭い橋梁等で連絡するため、アクセスが限られる。
- ・東西を連絡する一般道路は国道20号に限られ、これに国道412号や中央自動車道インターが接続するために、車両交通が集中する。
- ・地区西部では避難所の桂北小学校まで2km程度離れた集落がある。
- ・富士山の大規模噴火時には2cm未満の降灰が予測されており、道路や鉄道の通行支障、停電などのおそれがある（風向きによってはより重大な被害のおそれもある）。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	相模湖総合事務所, 相模湖まちづくりセンター, 桂北公民館, 県立相模湖交流センター, 小原宿本陣(県指定重要文化財), 小原の郷, 青少年相談センター相模湖相談室(相模湖総合事務所内)
警察署	相模湖交番
消防署	
消防団詰所	与瀬, 小原
病院等	梶原医院
主な災害時要援護者施設	神奈川県立津久井養護学校, グループホーム 花物語 さがみ湖, 相模原市立緑第一障害者地域活動支援センター
幼稚園、保育園	相模湖幼稚園, 与瀬保育園
学校、大学	桂北小学校, 北相中学校
避難所	桂北小学校
※洪水時避難所兼用	
洪水時避難所	
広域避難場所	北相中学校
防災備蓄倉庫	小原ふれあい広場, 桂北小学校, 相模湖総合事務所
※広域避難場所対応	
臨時ヘリポート	与瀬グラウンド

○地震被害予測結果

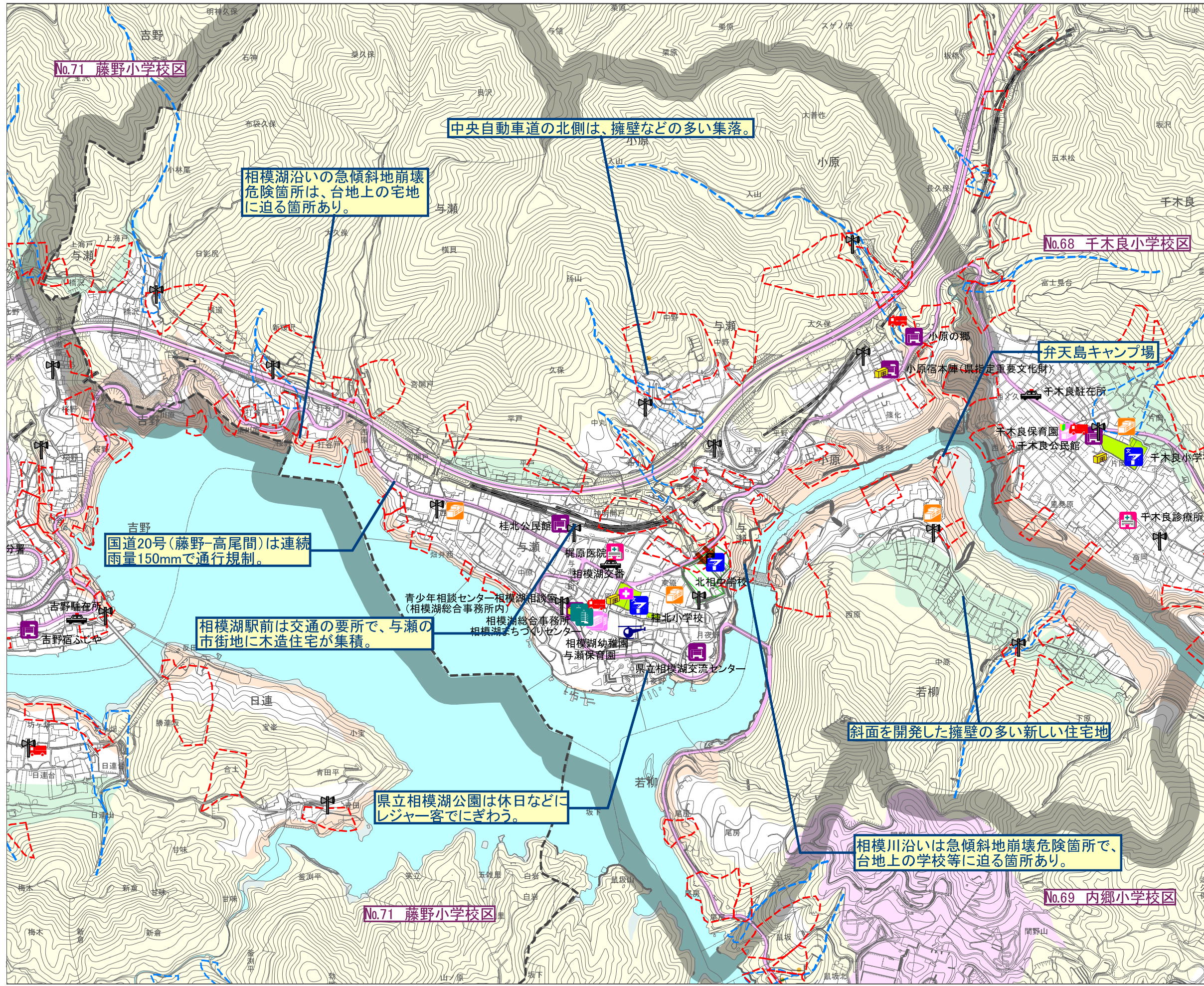
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	9棟	0.7%	57棟	4.0%	0棟	0.0%
建物焼失	1棟	0.0%	1棟	0.1%	0棟	0.0%
死者	1人	0.0%	4人	0.1%	0人	0.0%
閉込者	3人	0.1%	18人	0.7%	0人	0.0%
重傷者	1人	0.0%	4人	0.2%	0人	0.0%
軽傷者	16人	0.6%	38人	1.5%	0人	0.0%
避難所避難者(当日)	41人	1.6%	146人	5.6%	0人	0.0%
避難所避難者(1週間後)	128人	4.9%	283人	10.9%	8人	0.3%

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	
土砂災害	
地震による地盤災害	
地震による建物被害、火災	

○近年の主な災害履歴

平成15年 8月15日 土砂災害1箇所



凡例

防災関連施設等	
	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類	
	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴	
	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等	
	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄

みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)



1:12500

